

年・月	韓国企業名	総投資額	概要
2019年 1月	未来アセット・グループ、ネイバー	5,000万ドル	投資ファンドを通じ、オンラインマーケットプレースのブカラパックに出資。同社の成長力に注目。
	グラビティ	—	ゲームソフト開発の同社は現地パブリッシャーのリト(LYTO)と合弁会社を設立すると発表。合弁会社を通じて、オンラインゲームの流通を図る。
2月	SMエンターテインメント	—	インドネシアのCTグループと合弁会社を設立することで合意。合弁会社では、SMエンターテインメント所属のアーティストのインドネシア進出支援、コンテンツ制作、広告代行などを行う予定。
	KBキャピタル	—	自動車割賦金融企業のスニンド・パラマ・ファイナンスの発行株式85%を取得。今後、事業領域を中古車割賦販売、消費財割賦販売、レンタカーなどに拡大する計画。
7月	鐘根堂	3,000万ドル	インドネシア合弁会社 CKD-OTTOの抗がん剤工場が完成。同工場は鐘根堂初の海外生産拠点で、同時に、インドネシアで初めてハラル認証を受けた抗がん剤工場。製品はインドネシア国内で販売するとともに、中東諸国や他のアジア諸国などにも輸出予定。
9月	IBK企業銀行	—	買収済みのインドネシアの銀行2行が合併し、IBKインドネシア銀行が発足。インドネシアで業界トップの中小企業向け専門銀行を目指す。店舗数を現在の30店舗から2023年までに55店舗に増やす予定。
10月	新韓金融グループ	—	オンラインマーケットプレースのブカラパックへの出資を決定。同社の成長力を評価。
	OK金融グループ	—	同グループが2016年と2018年に買収したインドネシアの銀行2行が合併、「OKバンク インドネシア」が発足。
11月	KB国民カード	8,128万ドル	与信専門企業のファイナンシアマルチファイナンスの株式80%取得を決定。インドネシア市場に本格的に参入。
	ロッテケミカル	1兆ウォン	訪韓したインドネシア産業部長官に対し、インドネシア石油化学工場への投資額を4兆ウォンから5兆ウォンに増額する意向を表明。
	現代自動車	15億5,000万ドル	ジャカルタ近郊のブカシ市に自動車工場を建設、2021年末の稼働開始を予定。生産能力は当初、年産15万台、最終的には同25万台。生産車種は小型SUV、小型MPVなどで、電気自動車の生産も検討。
12月	韓国東西発電	5億4,000万ドル	南カリマンタン州のカルセル-1発電所を完工。同社では商業運転開始後25年間で27億ドルの売上高を見込む。
2020年 3月	イノベーションワールドワイド	—	現代自動車グループ傘下の広告代理店の同社はインドネシアに現地法人を設立。現代自動車のインドネシア販売法人のマーケティング活動に対応する。
5月	LG電子	—	韓国国内(慶尚北道龜尾市)のテレビ生産ラインの一部をインドネシアに移管すると発表。インドネシアをASEANにおけるテレビ生産拠点と位置づけ、生産能力を拡大する。
6月	韓国電力	620億ウォン	ジャワ島の火力発電所事業への参画を決定。
7月	現代トランス	81億300万ウォン(現代トランスのみ)	マレーシア企業との折半出資で自動車用シートなどの、自動車部品を生産する現地法人を設立、工場を建設。現代自動車のインドネシア進出に伴うもの。
8月	KB国民銀行	4,000億ウォン(累計)	ブコピン銀行に段階的に出資、発行株式67%を確保。KB金融グループ傘下の他社のインドネシア進出も進み、インドネシアで総合金融グループを形成。今後、ブコピン銀行を上位10位以内のリテールバンクとして育成する計画。

年・月	韓国企業名	総投資額	概要
9月	KDB産業銀行	—	総合金融会社ティファ・ファイナンスの買収を完了。リース金融中心だったティファ・ファイナンスの事業領域をインフラ開発金融など、KDB産業銀行が強みを有する事業に拡大する方針。
	ククトン	59億ウォン	ニット衣類企業の同社は、生産設備拡充の資金確保のためインドネシア現地生産法人に追加出資。
10月	現代オートエバー	—	現代自動車グループ傘下企業でITサービス企業の同社はインドネシア現地法人を設立。現代自動車や系列部品企業のインドネシア現地法人とインドネシア部品企業とのIT統合運営を行う。
	トゥナム	—	デジタル資産取引所運営の同社は、インドネシア現地法人がパートナー企業と合併企業を設立したことを発表。先物取引システムを開発し、現地会員企業に供給する予定。
	ソンウン・ファーマコピア	—	医薬品原料・化学品原料などの製造を行う同社は、消毒剤工場建設で現地企業と了解覚書(MOU)を締結。2021年末までの完工を目標にジャカルタ近郊の西ジャワ州チカラン工業団地に工場を建設する計画。
11月	大林通商	176億ウォン	インドネシア現地法人の財務構造改善のため追加出資を実施。
12月	韓国土地住宅公社・現代エンジニアリング	—	インドネシア企業と「ブカシ複合工業団地開発業務協約」を締結。400万平方メートル規模の複合工業団地を造成していく。
2021年1月	IBK企業銀行	784億ウォン	インドネシア金融監督庁からインターネットバンキング事業と有償増資(784億ウォン)の承認を受ける。
3月	メディゼンヒューマンケア	—	ヘルスケア企業の同社はサリム・グループと合併会社設立契約を締結。遺伝子検査を利用した保険事業・ヘルスケア事業を行う予定。
4月	ネイバー	1億5,000万ドル	インドネシア最大のメディア企業のエムテックと資本提携。両社の強みを生かした協力機会を発掘していく。
	ポスコ	—	現地合併会社のクラタカウ・ポスコが熱延鋼板の生産ラインを新設。東南アジア市場の開拓を進める予定。
5月	KCCグラス	3億5,000万ドル	中部ジャワ州バタン工業団地にガラス工場新設を決定。2024年完工予定。生産した建築用板ガラスをインドネシア、東南アジア市場で販売する。
6月	ハナ銀行	—	LINEとともにインターネット銀行のインドネシアLINEバンクを開業。LINEの持つインドネシアの顧客層をベースに事業展開する。
7月	ウリィ銀行	1,100億ウォン	現地法人のウリィサウダラ銀行の増資を引き受ける。インドネシア市場開拓にさらに注力。
	現代トランス	44億4,000万ウォン	現地法人に追加出資。工場建設のための資金確保のため。
	現代自動車グループ、LGエナジーソリューション	約11億ドル	西ジャワ州カラワン工業団地に年産10ギガワット時(GWh)規模の車載電池(注5)工場を建設する。2024年上半年に量産開始予定。製品は現代自動車・起亜に供給するとともに、世界の電気自動車市場向け供給も目指す。
8月	KB国民銀行	最大4,000億ウォン	KBブコビン銀行の有償増資に応じることを決定。顧客基盤確保、資産健全化、デジタル銀行への転換に向けた基盤づくりなどを狙う。
	KB証券	500億ウォン台	バルブリ証券と買収契約を締結。買収後、インドネシアの証券会社トップ5入りを目指す。
	クインテット・システムズ	—	CRM(顧客情報)システムを提供する同社は、インドネシアのIFTグループと合併会社設立のための戦略的提携を契約。インドネシアの優秀なIT人材を育成・発掘し、韓国市場にITアウトソーシング・サービスを提供する狙い。

注1:「年・月」は企業の発表日または報道日を基準としている。「概要」は原則的に発表日・報道日の内容に基づく。

注2: 合併の場合の総投資額は特記のない限り、合併相手側の投資額を含めた総投資額を示す。「—」は不明を示す。

注3: 新規現地法人の設立のほか、既存現地法人の生産能力増強などを含む。

注4: 1ウォン=約0.09円。

注5: LGエナジーソリューションの2021年7月29日付けプレスリリースでは「バッテリーセル」と表記。

出所: 各種報道、各社発表資料を基にジェトロ作成